



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ROTOBO

2025年(令和7年)1月15日号 No.1979

目次

■ 2024年のロシア経済と2025年の注目点	1
■ エトセトラ	10
情報提供セミナー「対ロシア制裁の実績と将来の展望」/10	
■ トピックス	10
日本、アルメニアと新租税条約締結/10	
中国・キルギス・ウズベク鉄道が起工/10	
米、ジョージア与党創設者に制裁/10	
ガспロム、ウクライナ経由でのガス供給を停止/11	
日本、ロシアに追加制裁/11	
米、ロシアに追加制裁/11	

2024年のロシア経済と2025年の注目点

(一社) ROTOBO ロシアNIS経済研究所
所長 中居 孝文

はじめに

ロシア・ウクライナ戦争勃発後、西側有志諸国による大規模な対ロ制裁が発動され、ロシアの経済成長率(GDP増減率)は2022年こそ1.2%のマイナスになったものの、2023年には3.6%のプラスを記録した。現状では2024年を通じたロシアの経済成長率は3.9%ないし4.0%のプラスと見込まれおり、好調さを維持している。本稿では、2024年のロシア経済を概観するとともに、その成長を支えている要因を考察するとともに、それでもなお見え隠れするロシア経済の「脆弱性」を指摘し、2025年を展望することとしたい。

1. 2024年のロシア経済と好調の要因

2022年2月24日のロシアによるウクライナ侵攻開始から、まもなく3年を迎えようとしている。ウクライナ侵攻と同時に西側有志諸国による大規模な経済制裁が発動され、当初、ロシア経済は大きなダメージを被ると予想されていた。例えば、2022年5月時点でロシア経済発展省は同年のロシアのGDP増減率を7.8%減、ロシア中央銀行は8.0~10.0%減、またIMFは8.5%減、世界銀行は8.9%減と予測していた。

だが、実際には、図表1にみるように、2022年のロシアのGDP増減率は、大方の予想に反して落